

保証書

持込修理 無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
(イ) 使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造などによる故障及び損傷
(ロ) お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛けなどによる故障及び損傷
- (二) 消耗または摩耗した部品、付属品の交換
(ホ) 本書のご提示がない場合
(ヘ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合(但し、販売店シールや領収証でも未記入項目の代用となります。)
(ト) 本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
(チ) 一般家庭用以外(例:業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
- ご贈答、ご転居などで本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	マイクが使えるモノラルラジカセ	★お買い上げ日 :	年 月 日	
型番	RCS-MUB910R	品番	07-8993	保証期間 : 本体1年間(お買い上げの日から)
お客様	ふりがな ★お名前 様 ★ご住所 〒			—
	電話 ()			
修理メモ				
販売店	★住所 店名 電話 印			

(注)★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとに
おいて無料修理をお約束するものです。

※この保証書によって保証書を発行している者(保
証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様
の法律上の権利を制限するものではありません。

※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、
お買い上げの販売店または弊社修理ご相談セン
ターにお問い合わせください。

※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証
期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動
のために記載内容を利用させていただく場合があ
りますので、ご了承ください。

◎OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
<https://www.ohm-electric.co.jp>

製品に関するお問い合わせは お客様相談室へ

●通話料無料 ●携帯・IP・公衆電話からは
0120-963-006 048-992-2735

電話 受付 平日 9:00~17:00
※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

修理に関するご相談は 修理ご相談センターへ

電話 受付 048-992-3970 平日 9:00~17:00
※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

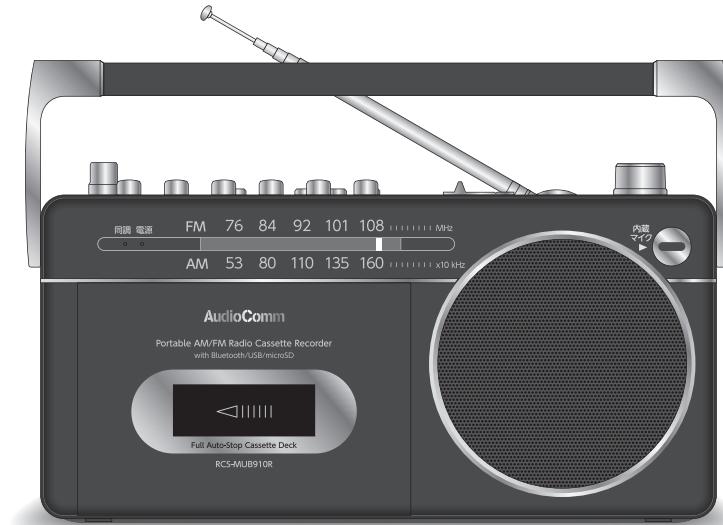
AudioComm®

マイクが使えるモノラルラジカセ

型番 : RCS-MUB910R

保証書付 取扱説明書

USBフラッシュメモリー・SDカードへの録音に対応
さらにBluetoothスピーカーとしても使える!



このたびは、AudioComm® マイクが使える モノラルラジカセを
お買い上げいただき、誠にありがとうございました。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にご使用ください。また、お読みになった後も、
ご使用時にいつでも見られるよう大切に保管してください。

免責事項

下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- 弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- 本製品によって生じたデータの消失または破損
- 本製品のために費やした時間及び経費
- 本製品を運用した結果もたらされた損害
- 本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- 本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

目次

免責事項	2
著作権について	2
安全上のご注意	2~4
Bluetoothについて	5~6
カセットテープについて	7~8
USB フラッシュメモリー／microSD カードについて	9
電源について	10
各部の名称	11
ラジオを聴く	12
カセットテープを聴く	13
USB フラッシュメモリー／microSD カードを再生する	14~15
Bluetoothで外部機器の音楽を再生する	16~17
外部マイクを使う（カラオケを楽しむ）	18
録音のしかた	
カセットテープに録音する	19
USB フラッシュメモリー／microSD カードに録音する	20~21
ヘッドホンの使いかた	21
お手入れのしかた	22
故障かなと思ったら	23~24
主な仕様	25
保証書とアフターサービスについて	26
保証書	裏表紙

著作権について

放送やレコードその他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープ、コンパクトディスクなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。従ってそれらから録音したものは個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

安全上のご注意

電気製品は間違った使いかたをすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階で表示しています。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の方への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようにになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、重傷などを負う可能性が想定される内容です。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

絵表示の使用例



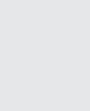
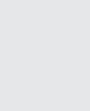
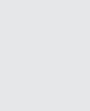
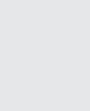
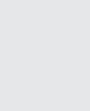
△記号は、注意（危険、警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
左図の場合は「感電注意」が描かれています。

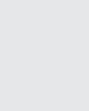


○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
左図の場合は「分解禁止」が描かれています。



●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。
左図の場合は「電源プラグをコンセントから抜く」が描かれています。

⚠ 警告			
 コンセントから抜く	<p>万一、煙が出ていたり、変なにおいや音がするなどの異常を感じたら、すぐに本機の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜く</p> <ul style="list-style-type: none"> ●そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。 ●煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。 <p>万一、内部に異物や水などが入った場合は、電源プラグをコンセントから抜く</p> <ul style="list-style-type: none"> ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。 	 乾電池に注意	<p>乾電池は幼児の手の届かないところへ置く。本機から乾電池を取り外した場合は、小さなお子様が誤って飲み込むことがないようにする</p> <ul style="list-style-type: none"> ●万一、お子様が飲み込んだ場合には、ただちに医師に相談してください。
 22cm以上離す	<p>心臓ペースメーカーを使っているときは装着部位から22cm以上離す</p> <ul style="list-style-type: none"> ●電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。 	 禁止	<p>表示された電源電圧交流100ボルト以外の電圧で使用しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●火災・感電の原因となります。 <p>本機の上に、例えば火のついたロウソクなど、火災の原因となるようなものを置かない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●火災の原因となります。 <p>狭い場所や壁に押し付けるなど、通気が妨げられる場所に設置しない。また、テーブルクロスやカーテンなどをかけて通気口をふさがない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●過熱して火災・感電の原因となります。
 接続場所を選ぶ	<p>電源プラグはすぐに手が届く位置にある家庭用コンセントに接続する</p> <ul style="list-style-type: none"> ●手が届きにくい場所にあると、異常があったときに対応が遅れるおそれがあります。 <ul style="list-style-type: none"> ●本機の電源を切っただけでは、完全に電力を遮断できません。異常が生じたときには、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。 	 電源コードを敷物などで覆わない	<p>本機や電源コードの上に重いものをのせたり、コードの上に本機をのせない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。
 分解禁止	<p>本機を分解、修理、改造しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●火災・感電の原因となります。 	 本製品を使用時は必ず付属の電源コードを使う。 また、付属の電源コードは絶対に他の製品には使用しない	<ul style="list-style-type: none"> ●付属の電源コードは本製品専用です。 ●製品の破損、もしくは火傷・発煙・火災の原因となります。
 コードの使用中止	<p>電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、使用を中止する</p> <ul style="list-style-type: none"> ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●修理をご依頼ください。 	 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない	<ul style="list-style-type: none"> ●コードが破損して火災・感電の原因となります。
 水かけ禁止	<p>浴室やシャワー室など、湿度の高いところや水はねのある場所では使用しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●火災や感電の危険があります。 	 自動車・船舶などの直流DC電源には接続しない	<ul style="list-style-type: none"> ●火災の原因となります。
 接触禁止	<p>雷が鳴り始めたら、安全のため本機及び電源コードに触れない</p>	 航空機内や医療機器の近くで使わない	<ul style="list-style-type: none"> ●電波の影響で誤作動の原因となるおそれがあります。

⚠ 注意			
 ぬれ手禁止	<p>ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●感電の原因となることがあります。 	 禁止	<p>自動制御機器(自動ドアや火災報知器など)の近くで使わない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●電波の影響で誤作動の原因となるおそれがあります。
 乾電池の極性表示に注意	<p>乾電池は、極性表示(プラス+とマイナス-)の向きに注意し、表示どおり正しく入れる</p> <ul style="list-style-type: none"> ●間違えると乾電池の破裂、液もれにより火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。 	 乾電池に注意	<p>乾電池は、直射日光、火などの過度の熱にさらさない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●液もれしたり、性能や寿命を低下させるおそれがあります。
 音量は小さく	<p>電源を入れる前には、音量を最小にする</p> <ul style="list-style-type: none"> ●突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。 	 音量に注意	<p>ヘッドホン使用時は音量を上げすぎない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
 指を挟まないよう注意	<p>お子様がカセットドア内に手を入れないように注意する</p> <ul style="list-style-type: none"> ●けがの原因となることがあります。 	 コンセントから抜く	<p>旅行などで長期間本機を使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、乾電池も取り外す</p> <ul style="list-style-type: none"> ●火災・液もれの原因となることがあります。
 お手入れの際には安全のため電源プラグをコンセントから抜く	<p>お手入れの際には安全のため電源プラグをコンセントから抜く</p> <ul style="list-style-type: none"> ●感電の原因となることがあります。 	 移動させるときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く	<p>持ち運びするときは、アンテナを縮める</p> <ul style="list-style-type: none"> ●伸ばしたまま運ぶとアンテナが引っ掛かったり、当たったりなどしてけがの原因になることがあります。
 アンテナに注意	<p>電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 	 禁止	<p>窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●キャビネットや部品に悪い影響を与える、故障の原因となることがあります。
 海外では使用しない	<p>海外では使用しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●本製品は日本国内専用です。日本国内で正規に販売された接続機器以外との接続による安全性は保証いたしかねます。 ●海外では国によって電波使用制限が異なるため、本製品を使用した場合、罰せられることがあります。 		

Bluetoothについて

Bluetoothとは

Bluetoothは、パソコンやオーディオシステム、デジタルカメラなど、比較的距離の短いデジタル機器間で通信を行う無線技術です。USBやオーディオケーブルで2つの機器間をつなぐ必要がなく、本機の場合、Bluetooth機器(Bluetooth対応の音楽プレーヤーや携帯電話など)との距離が最大約10m以内であれば、どこにいても無線通信により音楽を楽しむことができます。

※Bluetooth及びBluetoothロゴマークは、Bluetooth SIG, INC.の商標で、当社はライセンスにもとづき使用しています。

Bluetoothの対応バージョン及びプロファイル

Bluetoothは世界標準規格によって、特性・機能ごとに応バージョンとプロファイルが規定されています。本機は、以下のバージョン及びプロファイルに対応しています。なお、本機のご利用にあたっては、通信相手となるBluetooth機器においても、以下に挙げるいずれかのプロファイルに対応している必要があります。

【対応バージョン】 Bluetooth標準規格 Ver.4.2

【対応プロファイル】 A2DP、AVRCP

※Bluetooth機器が同じプロファイルに対応していても、本機の性能・機能が制限される場合があります。

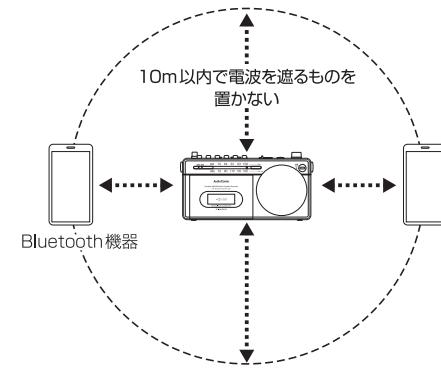
※本機はすべてのBluetooth機器との接続動作を保証したものではありません。

通信可能範囲について

本機の通信可能範囲は最大約10mですが、人体、壁、金属などの障害物の有無や電波状態によって有効範囲が変化します。できるだけ障害物がない空間でご使用ください。

セキュリティについて

本機はBluetooth通信時のセキュリティとして、標準規格に準拠したセキュリティ機能を有していますが、設定内容などによっては十分に対応できないおそれがあります。万一、情報漏洩などが発生しても、弊社としては一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。



使用周波数と注意事項

本製品の使用周波数帯(2.4GHz帯)では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許が必要)、特定小電力無線局(免許が不要)、及びアマチュア無線局(免許が必要)が運用されています。

1. ご使用の前に、近くで移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、及びアマチュア無線局が運用されていることを確認してください。
2. 本製品の使用により、万一、移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の電源を切ってください。そのうえで弊社お客様相談室(裏表紙)にご連絡いただき、混信回避のための処置(例えばパーティションの設置など)についてご相談ください。
3. そのほか、移動体識別用の特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合やご不明点がございましたら、弊社お客様相談室(裏表紙)までお問い合わせください。

医療機器近くでの使用に関する際は、特に注意してください

- 本製品を使用中に気分が悪くなった場合は、ただちに使用を中止してください。
- 病院内など無線機器の使用を禁止された区域では、本製品の電源を切ってください。また、無線機器の使用が制限された区域では、施設管理者などに確認のうえ使用してください。他の機器に悪影響を与えること、事故の原因となります。
- 医療機器及び人命に直接的または間接的に関わるシステム、高い安全性や信頼性が求められる環境下では絶対に使用しないでください。
- 植込み型心臓ペースメーカー、または植込み型除細動器を装着している場合は、装着部から本製品を22cm以上離して携行及び使用してください。電波によりペースメーカー及び除細動器の動作に影響を及ぼすおそれがあります。
- 混雑している場所では、周囲に植込み型心臓ペースメーカーまたは植込み型除細動器を使用している人がいる可能性がありますので、ご使用の際は十分にご注意ください。
- 医療機関内では次のことを守ってください。
 - ・手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)には持ち込まない。
 - ・病棟内では本製品を使わない。
 - ・ロビーなどでも、周囲に医療機器がある場所では電源を切る。
 - ・その他、医療機関による使用制限や使用禁止指示は必ず守る。
- 植込み型心臓ペースメーカー、または植込み型除細動器を装着している方で、自宅などで療養中の方は、本製品をご使用になる前に、電波による影響について個別に医療機器メーカーなどにご確認ください。電波により医療機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

本機の機器認定について

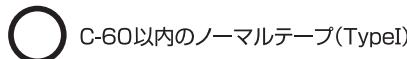
本機は電波法にもとづく小電力データ通信システムの無線設備として認証を受けていますので、ご使用にあたって無線局の免許は必要ありません。ただし、本機を分解・改造する行為、本機に貼つてある定格銘板を消したりはがしたりする行為は、法律により罰せられることがあります。

本製品は日本国内でのみ使用できます。

カセットテープについて

本機で使用できるカセットテープ

C-60(再生／録音時間が60分)以内のノーマルテープ(TypeI)をお使いください。



C-60以内のノーマルテープ(TypeI)

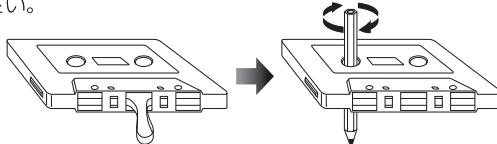


ハイポジションテープ(TypeII)
メタルテープ(TypeIV)
エンドレステープ
C-60を超えるノーマルテープ

- ハイポジションテープ(TypeII)やメタルテープ(TypeIV)、エンドレステープは使えません。
- ノーマルテープの場合でも、C-60を超える長時間テープは通常のカセットテープに比べて非常に薄いため、伸びたり、回転部分に巻き込まれるなどのトラブルの原因になりますので使わないでください。

カセットテープを聴く前の準備

- テープのたるみは、テープの巻きつきや切斷の原因になります。
- テープがたるんでないかどうか確かめ、たるんでいる場合は図のように鉛筆などで必ず直してからご使用ください。
- テープの損傷を避けるため、大切なテープやオリジナルテープは必ずダビングし、ダビングしたテープを本機でお使いください。



本機でカセットテープを操作するときのご注意

- 再生中に早送り／巻戻しをするときや、早送り／巻戻しから再生に戻るときなど、テープが動いているときは、必ず停止／取出しボタンでテープ動作をいったん停止させてから、次の操作を行なってください。
テープのからまりや、故障、破損の原因となります。
- 再生／録音状態のまま電源を切らないでください。
テープが回転部分に密着したままになるので、からまりや巻きつきの原因となります。

カセットテープへの録音機能と録音する前の準備

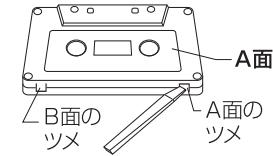
- カセットテープとUSBフラッシュメモリーやmicroSDカードに、同時に録音することはできません。
- 録音レベルは自動調節で一定に録音されますので、音量調整ツマミを操作しても録音に影響がありません。
- 大切な録音をするときは、付属の電源コードのご使用をお薦めします。

録音する前の準備

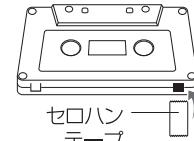
- テープがたるんでないかどうか確かめ、たるんでいる場合は、上記の「カセットテープを聴く前の準備」を参照して、鉛筆などで必ず直してからご使用ください。
- ツメを折ってあるテープは録音ボタンの操作ができません。無理に押したりすると故障する場合もありますのでご注意ください。
- カセットテープの両端にあるリーダーテープ部分(透明部)は録音ができません。録音前にこの部分を送っておいてください。

大切な録音を消さないために

保存しておきたいテープの場合、カセットのうしろ側にある「ツメ」を折っておくと、間違って大切な録音を消去せずにすみます。再び録音したい場合は、折ったツメの部分にセロハンテープなどを貼りつけてください。



間違って消したくないときは
ツメを折る



再度録音したいときは
テープで折った穴をふさぐ

フルオートストップ機能について

本機にはフルオートストップ機能があり、テープが終わりまで行くと自動的に止まり、押し込まれていた操作ボタンも自動的に上がります。

カセットテープ保管上の注意

使用後は必ず本機からカセットテープを取り出し、ケースに入れて保管してください。長期間入れたままになると、からまりや巻きつきによって、本機及びカセットテープの故障、破損の原因となります。

USBフラッシュメモリー／microSDカードについて

本機で使用できるUSBフラッシュメモリーとmicroSDカード

USBフラッシュメモリー及びmicroSDカードは4MB～32GBまでのタイプを推奨します。

●上記を超える容量のタイプを使用すると、読み込みに時間がかかったり、動作が不安定になる場合があります。

●本機は、すべてのUSBフラッシュメモリー及びmicroSDカードについて、動作を保証するものではありません。

ファイル形式について

- 再生** …本機ではMP3形式の音楽／音声ファイルを再生できます。ただし、DRM(デジタル著作権管理)ファイルの再生はできません。また、ステレオ音源を再生する場合でも、出力はモノラルとなります。
- 録音** …本機での録音はMP3(128kbps)モノラルとなります。 ※Bluetooth音源時は192kbps

本機でUSBフラッシュメモリーやmicroSDカードを操作するときのご注意

重要

- 不具合の原因となりますので、動作中のUSBフラッシュメモリーやmicroSDカードには触れないでください。
- 抜き差しする際は、必ず電源が切れている状態(ファンクション切換スイッチ='テープ/電源切')で行ってください。
電源が入っているときに抜き差しすると、データが破損するおそれがあります。

- USBポートはUSBフラッシュメモリーによる再生・録音専用です。充電機能は搭載されておりません。
- 市販のUSBハブやマルチポート対応のSDカードリーダーは使えません。USBフラッシュメモリー及びmicroSDカードは、直接本機のUSBポートやmicroSDカードスロットに差し込んでご使用ください。
- USBフラッシュメモリーやmicroSDカードの仕様／フォーマット型式やご使用状況により、正常に再生・録音されなかったり、またはご使用になれないことがあります。
- 大切な録音は、パソコンのハードディスクやCD-Rなどにコピーを取ることをおすすめします。
- USBフラッシュメモリー及びmicroSDカードのフォーマット機能はありませんので、パソコンなどで行なってください(ファイルシステムFAT32対応)。

USBフラッシュメモリー及びmicroSDカードへの録音について

- 本機で録音すると、メディア内に「RCS_REC」フォルダーが作られ、その中にファイルが保存されます。ファイル名は、「FILE0000」から順に番号が割り振られています(拡張子は.MP3となります)。
- ラジオの音声を録音する場合、受信環境などによりノイズが入る場合があります。できるだけ良好な受信状態のもとで録音してください。AMラジオは、機能上ノイズの影響を受けやすく、録音にはノイズが発生することをご了承ください。
- USBフラッシュメモリーとmicroSDカードに同時に録音することはできません。また、USBフラッシュメモリーまたはmicroSDカードと、カセットテープの同時録音もできません。
- 録音途中でUSBフラッシュメモリーの書き込み領域がなくなった場合、録音中のファイルは記録されません。
- 外部マイク以外の録音レベルは自動調節で一定に録音されますので、音量調整ツマミを操作しても録音に影響がありません。
- 大切な録音をするときは、家庭用電源でのご使用をお薦めします。

電源について

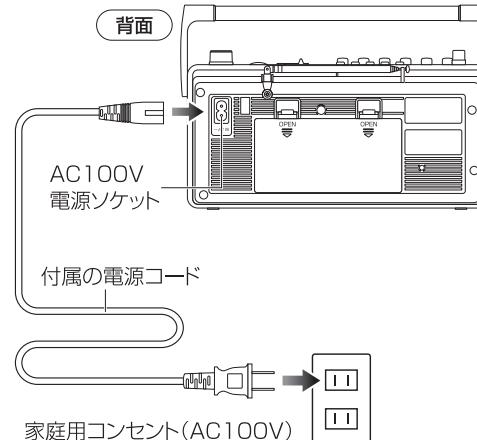
- 電源コードを抜き差したり、乾電池を出し入れするときは、電源が切れた状態で行ってください。
- 電源を入れる前に音量を最小にしてください。突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

家庭用電源を使う場合

付属の電源コードで本機のAC100V電源ソケットと家庭用コンセントを接続します。

●乾電池が入っている場合でも、電源コードを接続すると自動的にAC電源に切り替わります。

●本機を使用しないときは電源コードをコンセントから外してください。



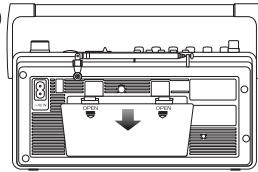
乾電池を使う場合

●アルカリ乾電池のご使用をお薦めします。

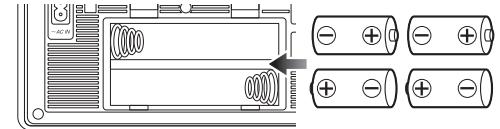
●電池カバーを外し、乾電池の⊕と⊖を間違えないように、単2形乾電池4本を入れます。

※長時間使用するときや大切な録音をするときは、付属の電源コードを使用してください。

背面



本体背面の電池カバーのツメを押し下げながら手前に引き、電池カバーを開けてください。



単2形乾電池×4本(別売)

コイルばねのあるほうが⊖です。
⊖側から先に装着してください。

※付属の電源コード(ACコード)は本製品専用です。家庭用電源でご使用の際には、必ず付属の電源コード(ACコード)をお使いください。また、付属の電源コード(ACコード)は絶対に他の製品には使用しないでください。製品の破損、もしくは火傷・発煙・火災の原因となる場合があります。

※長期間使用しないときや、長期間電源コード(ACコード)で使用する場合は、必ず乾電池を取り出してください。
乾電池から微弱な電流が流れため、電池を消耗させるだけでなく液もれの原因となります。

乾電池を安全にお使いいただくために

液もれ、発熱、破裂等の事故を防ぐために、以下のことをお守りください。

警告

- ・火中への投入、加熱、分解をしない
- ・取り外した乾電池を幼児に触らせない
- ・ショートさせない
- ・直射日光や火などの過度の熱にさらさない

注意

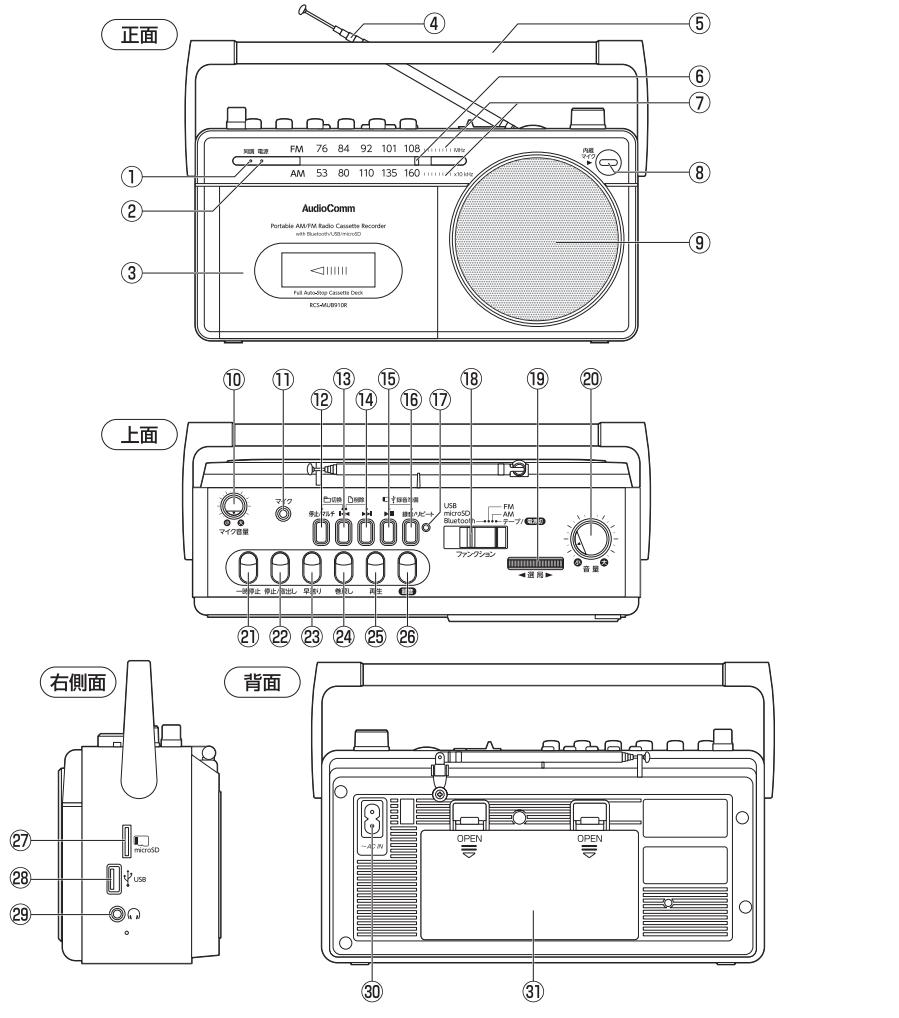
- ・⊕⊖の表示どおりに入れる
- ・指定以外の乾電池を入れない
- ・使用推奨期限内の乾電池を使用する
- ・古い乾電池と新しい乾電池、マンガンとアルカリなど種類の異なる乾電池を一緒に入れない
- ・使い切った乾電池はすぐに取り出す
- ・しばらく使わないときは乾電池を取り外しておく

●万一、液もれしたら、液をよく拭き取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。

●万一、もれた液が目に入ったときは、失明の原因となるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。

●使用済みの乾電池を廃棄する場合、自治体の条例などで決まりがあるときにはそれに従って廃棄してください。

各部の名称

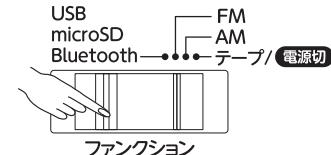
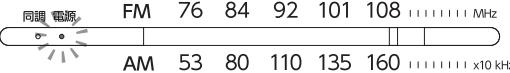


- | | | | |
|--------------|--------------------|------------------|-----------|
| ① 同調ランプ | ⑫ 停止／マルチファンクションボタン | ⑭ 一時停止ボタン | ⑯ メディア操作部 |
| ② 電源ランプ | ⑬ スキップボタン(◀▶) | ⑮ 停止／取出しボタン | ⑰ カセット操作部 |
| ③ カセットドア | ⑭ スキップボタン(▶▶) | ⑯ 早送りボタン | |
| ④ FMロッドアンテナ | ⑮ 再生／一時停止(▶▶)ボタン | ⑰ 卷戻しボタン | |
| ⑤ ハンドル | ⑯ 録音／リピートボタン | ⑱ 再生ボタン | |
| ⑥ 選局指針 | ⑰ インジケーター | ⑲ 録音ボタン | |
| ⑦ 選局目盛り | ⑲ ファンクション切換スイッチ | ⑳ microSDカードスロット | |
| ⑧ 録音マイク(内蔵) | ⑳ 選局ダイヤル | ㉑ USBポート | |
| ⑨ スピーカー | ㉒ 音量調整ツマミ | ㉓ ヘッドホンジャック | |
| ⑩ マイク音量調整ツマミ | ㉔ AC100V電源ソケット | ㉕ 電池ボックスカバー | |
| ⑪ マイクジャック | ㉖ 電池ボックスカバー | | |

ラジオを聴く

- 1 ファンクション切換スイッチを「AM」または「FM」に合わせます。**

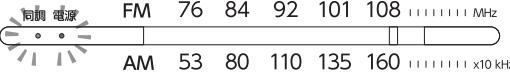
●電源ランプ(緑)が点灯します。



- 2 選局ダイヤルを回して、聴きたい放送局を受信します。**

●同調すると、同調ランプが赤く点灯してお知らせします。

※電波の状態によっては、点灯しない場合があります。



- 3 音量調整ツマミを回して、好みの音量に調整します。**

●音量を上げすぎないでください。周囲の迷惑になるだけでなく、長時間続けて聴くと聴力に悪い影響を及ぼすおそれがあります。

- 4 終了するときは、ファンクション切換スイッチを「テープ／電源切」に合わせます。**

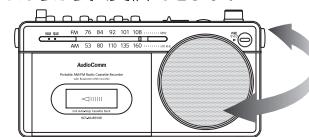
FM補完放送「ワイドFM」について

本機はFM周波数帯域が76～108MHzまであり、FM補完放送「ワイドFM」に対応しています。FM補完放送「ワイドFM」とは、AM放送局の放送区域において難聴対策や災害対策のために新たにFM放送用に割り当てられた90.1～94.9MHz周波数帯域を用いて補完的にAM番組を放送することです。FM補完放送「ワイドFM」の開始時期、放送局、使用周波数、聴取可能エリアなどは地域により異なります。詳細は各地域のラジオ局ホームページなどをご覧ください。

受信状態を良くするには

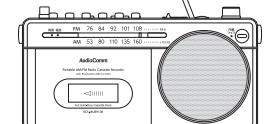
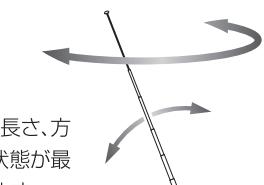
●AM放送の受信

本機にアンテナが内蔵されています。本機を動かして最も受信状態の良い向きを見つけてください。室内の場合、窓際のほうが良く受信できます。



●FM放送の受信

ロッドアンテナを伸ばし、長さ、方向、角度を変えて、受信状態が最も良くなるように調節します。

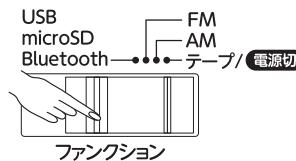


- ご注意** ●テレビの近くでAMを受信すると、雑音が入ることがあります。また室内アンテナを使用しているテレビの近くで本機を使用すると、テレビの画像が乱れことがあります。このようなときは、本機を離してご使用ください。
●持ち運ぶときは、目をついたり危険ですので、必ずFMロッドアンテナを縮めてください。

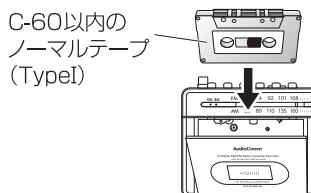
カセットテープを聴く

本機で再生できるカセットテープの種類やフルオートストップ機能、その他のヒントや注意事項は、P.7～8もあわせてご確認ください。

- 1 ファンクション切換スイッチを「テープ／電源切」に合わせます。



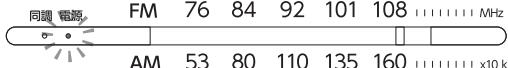
- 2 停止／取出しボタンを押してカセットドアを開け、カセットテープを正しく入れます。



テープの見える側を上に、再生する面を手前にして入れ、カセットドアを手で押して閉めてください(テープは右から左へ走行します)。テープ装着後はカセットドアを確実に閉めてください。

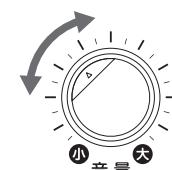
- 3 再生ボタンを押すと、再生が始まります。

●テープ動作中は電源ランプ(緑)が点灯します。



- 4 音量調整ツマミを回して、お好みの音量に調整します。

●音量を上げすぎないでください。周囲の迷惑になるだけでなく、長時間続けて聴くと聴力に悪い影響を及ぼすおそれがあります。



- 5 停止／取出しボタンを押すと、再生が停止します。

●カセットテープを取り出し、ケースに入れて保管してください。



カセットテープ操作ボタンの基本機能

一時停止	再生中に押すと、再生を一時停止します。もう一度押すと、再生を再開します。
停止／取出し	早送り・巻戻し・再生・録音中に押すとそれらの動作を停止します。 停止中に押すとカセットドアが開きます。
早送り	押すとテープを左側のリールに早送ります。
巻戻し	押すとテープを右側のリールに巻戻します。
再生	押すとテープを再生します。

本機はオートストップ機能があり、テープが終わりまで行くと自動的に停止し、押し込まれていたボタンが戻ります。

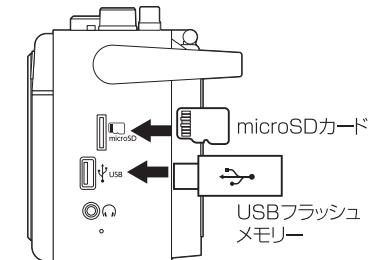
重要

●テープ走行動作中に他動作へ移る際は、必ず停止／取出しボタンでテープ動作を停止させてから行ってください。テープのからまりや、故障、破損の原因になります。

USBフラッシュメモリー／microSDカードを再生する

ヒントとご注意

- 録音専用フォルダーと一般フォルダーについて：本機を使ってUSBフラッシュメモリーまたはmicroSDカードに録音すると、メディア内に「RCS_REC」フォルダーが自動生成され、その中にファイルが保存されます。これらは、パソコンなどからコピーした音楽／音声ファイル(フォルダー)と区別されるため、本書では「録音専用フォルダー」と呼び、パソコンなどからコピーした音楽／音声ファイル(フォルダー)を「一般フォルダー」と呼ぶことにします。録音専用フォルダーと一般フォルダーは、停止／マルチファンクションボタンとスキップボタン(◀▶)を同時に押すことで、切り換えができます。
- 本機はファイル／フォルダー(階層)が作成された順に、新しいファイルから再生します。従ってパソコンなどでファイル名を変更しても再生順は変わりません。
- MP3以外のファイルを含むメディアを使用した場合や、USBフラッシュメモリー／microSDカードの仕様・フォーマット形式、ご使用状況により、正常に再生されない、またはご使用になれないことがあります。本機で再生できるUSBフラッシュメモリーやmicroSDカードの規格、その他のヒントや注意事項は、P.9をご確認ください。
- DRM(デジタル著作権管理)ファイルの再生はできません。



- 1 ファンクション切換スイッチが「テープ／電源切」になっていることを確かめた後、USBフラッシュメモリーまたはmicroSDカードを本機に差し込みます。

●USBフラッシュメモリーはUSBポートに差し込みます。
microSDカードは、カチッと音がするまでmicroSDカードスロットに差し込みます。

●USBフラッシュメモリーとmicroUSBカードは、同時に装着しないでください。誤作動の原因になります。

- 2 ファンクション切換スイッチを「USB・microSD・Bluetooth」に合わせます。

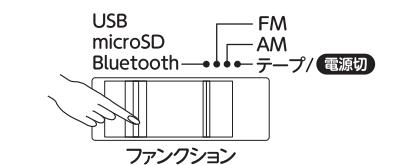
●インジケーター(紫)が点灯します。
●このときに停止／マルチファンクションボタンを押すと、Bluetoothモード(インジケーター：青／点滅)に切り換わります。もう一度押すと、USB・microSDモードに戻ります。
※USBフラッシュメモリーとmicroSDカードが差し込まれていないときは、自動的にBluetoothモードになります。

- 3 再生／一時停止(▶⏸)ボタンを押すと、再生が始まります。

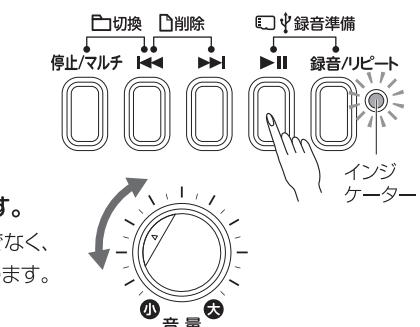
●再生中はインジケーター(紫)がゆっくりと点滅します。

- 4 音量調整ツマミを回して、お好みの音量に調整します。

●音量を上げすぎないでください。周囲の迷惑になるだけでなく、長時間続けて聴くと聴力に悪い影響を及ぼすおそれがあります。



USB/microSD(紫) ⇌ Bluetooth(青)

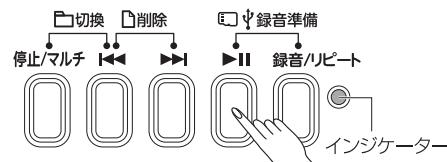


次ページへ続く 14

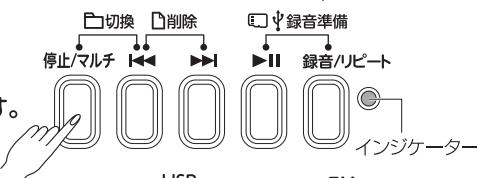
USBフラッシュメモリー／microSDカードを再生する(つづき)

- 5** 再生を一時停止するときは、
再生／一時停止(▶II)ボタンを押します。

●一時停止中は、インジケーター(紫)が点灯に変わります。もう一度押すと再生を再開します。

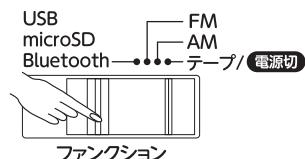


- 6** 再生を停止するときは
停止／マルチファンクションボタンを押します。



- 7** 終了するときは、ファンクション切換スイッチを
「テープ／電源切」に合わせます。

●インジケーターが消灯します。



USB・microSD・Bluetooth操作部のボタン機能(再生時)

停止/マルチ	停止／マルチファンクションボタン ●再生中に押すと、再生を停止します。 ●停止中の場合は、押すたびにメディアを切り替えます(USBフラッシュメモリー／microSDカード→Bluetooth)。
◀◀	スキップ(◀◀)ボタン ●再生中に押すと、ひとつ前の曲を再生します。停止中または一時停止中に押した場合は、再生／一時停止(▶II)ボタンを押して再生を開始してください。 ●長押しすると早戻しになります。
▶▶	スキップ(▶▶)ボタン ●再生中に押すと、次のファイルを再生します。停止中または一時停止中に押した場合は、再生／一時停止(▶II)ボタンを押して再生を開始してください。 ●長押しすると早送りになります。
▶II	再生／一時停止(▶II)ボタン ●再生中に押すと、一時停止します。もう一度押すと、再生を再開します。
録音/リピート	録音／リピートボタン ●停止中に押すと、押すたびにリピートモードを設定できます(1曲リピート→全曲リピート→ランダム再生→リピートモードオフ)。初期設定はリピートオフです。 ●長押しすると内蔵マイクを使った録音が始まります(インジケーターが赤く点滅します)。

白切换 停止/マルチ	停止／マルチファンクションボタンとスキップ(◀◀)ボタンを同時に押す ●録音専用フォルダーと一般フォルダーを切り替えます。
削除	再生中にスキップ(◀◀)ボタンとスキップ(▶▶)ボタンを同時に2秒間長押しする ●再生中の曲を削除します(インジケーターが一時的に赤く光ります)。

Bluetoothで外部機器の音楽を再生する

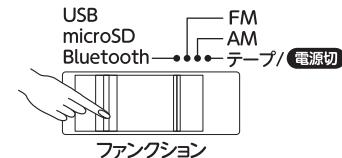
ペアリング(初期登録)のしかた

ペアリングとは、本機をBluetooth機器(相手側機器：携帯電話やBluetooth対応ワイヤレス音楽プレーヤーなど)に初期登録する操作のことです。はじめて使うときは必ずペアリングを行なってください。

本機のBluetooth機能は受信のみになります。Bluetooth搭載ヘッドホンなどとは接続できません。

- 1** 本機の電源が切れていることを確認し、本機と登録したい相手側機器を手元に用意します。

- 両機器の間には障害物を置かず、1m以内にしてください。
- 相手側機器は電源が入っている状態にしてください。
- USBフラッシュメモリーやmicroSDカードは装着しないでください。



- 2** ファンクション切換スイッチを
「USB・microSD・Bluetooth」に合わせます。

- 本機の電源が入り、サーチモードになります。サーチモードではインジケーター(青)が点滅します。

- 3** Bluetooth機器側で本機を登録してください。

Bluetoothの設定画面を開く

iPhone :
[設定]→[Bluetooth]

SoftBank :
[設定]→[端末設定]→[無線とネットワーク]→[Bluetooth]

Android :
[設定]→[その他の設定]→[Bluetooth]
[設定]→[無線とネットワーク]→[Bluetooth設定]

au :
[設定]→[端末設定]→[無線とネットワーク]→[Bluetooth設定]

NTT docomo :
[アプリ]→[設定]→[Bluetooth]

Windows Mobile :
[設定]→[接続]→[Bluetooth]

上記は参考例です。機種や搭載OSのバージョンなどにより、ボタンや項目の名称、画面展開が異なります。各機器付属の取扱説明書を参照してBluetooth機器の検索・登録画面へ順次進んでください。

本機を登録する

お使いのBluetooth機器側で本機の名称「RCS-MUB910R」が表示されたら、それを選択して登録します。パスキーやPINコードを求められた場合は「0000」と入力してください。

※携帯電話によってはご自身で設定されたパスコードが必要な場合があります。

本機との接続が完了すると…

接続が完了すると電子音が流れ、本機を使用できる状態になります(インジケーターが点灯に変わります)。相手側機器で再生などの操作を行なってください。機器によっては本機の再生／一時停止(▶II)ボタンで再生を開始できます。再生中はインジケーターがゆっくり点滅します。

Bluetoothで外部機器の音楽を再生する(つづき)

ヒントとご注意

- 本機はBluetooth標準規格 Ver.4.2(プロファイル : A2DP, AVRCP)に対応しています。複数のプロファイルに対応している機器の中には、プロファイルの選択が必要な機種もあります。その場合は、上記のいずれかを選択してください。上記以外のプロファイルでの動作は保証しかねます。
- ペアリング済みの相手側機器に対しては、本機の電源を切り、再度電源を入れたときにもう一度ペアリングする必要はありません。相手側機器の電源が入っており、Bluetooth機能も有効なことを確認して、本機のファンクションスイッチを「USB・microSD・Bluetooth」に合わせてください。このとき、USBフラッシュメモリーまたはmicroSDカードが装着されている場合は、停止／マルチファンクションボタンを数回押して、Bluetoothを選択(インジケーターが青く点滅)してください。ただし、機種によっては、その都度接続操作が必要な場合があります。その際は、機器付属の取扱説明書を参照し、本機との接続を確立してからお使いください。
- 接続しようと思っている相手側機器が他の周辺機器とBluetooth通信を行なっているときは、本機とのペアリングができないことがあります。その際は、他機との接続を解除したうえで本機とのペアリングを行なってください。
- 一度登録後、ご使用中に接続がうまく行かなくなったり、正常に動作しなくなったり、一時停止中に停止／マルチファンクションボタンを長押ししてサーチモードにし、再度相手側機器で接続操作をしてください。それでも正しく動作しない場合は、相手側機器で本機の登録を削除し、再度ペアリングを行なってください。場合によっては相手側機器の再起動を行なう必要があります。
- 意図しない機器と接続されてしまう場合は、停止／マルチファンクションボタンを長押しすると、接続を解除することができます。

Bluetooth接続中のボタン操作

	停止／マルチファンクションボタン <ul style="list-style-type: none">●他のメディア(USBフラッシュメモリーまたはmicroSDカード)が本機に装着されている場合は、メディアを切り替えます。※再生停止操作はできません。●一時停止中に長押しするとサーチモードになります。
	スキップ(◀◀)ボタン <ul style="list-style-type: none">●曲の先頭に戻って再生します。直後にもう一度押すと、ひとつ前の曲を再生します。一時停止中に押した場合は、再生／一時停止(▶⏸)ボタンを押して再生を開始してください。
	スキップ(▶▶)ボタン <ul style="list-style-type: none">●次のファイルを再生します。一時停止中に押した場合は、再生／一時停止(▶⏸)ボタンを押して再生を開始してください。
	再生／一時停止(▶⏸)ボタン <ul style="list-style-type: none">●再生中に押すと、一時停止します。もう一度押すと、再生を再開します。

ヒントとご注意

- Bluetooth接続では、本機のリピートモード設定は使えません。相手側機器で操作してください。
- 機器によっては上記と異なる動作をする場合があります。
- 本機側で音量設定を大きくしすぎると、他のファンクションに移行したとき、過度に大きな音になることがあります。本機での設定はできるだけ一定にし、相手側機器で調整してください。

外部マイクを使う(カラオケを楽しむ)

市販の3.5mmミニプラグ対応マイク(ダイナミック型)をお使いいただけます。

- 1 本機の電源が切れた状態で、マイク(別売)をマイクジャックにつなぎます。
- 2 使いかたに応じて、ファンクション切換スイッチを以下のとおり合わせます。

外部マイクを単独で使う場合

●「テープ／電源切」または「USB・microSD・Bluetooth」

- ・「テープ／電源切」の場合は、カセットテープを入れていない状態で、カセットテープの再生ボタンを押した後、一時停止ボタンを押してください。
- ・「USB・microSD・Bluetooth」の場合は、メディアを装着していない状態(またはBluetooth接続していない状態)をお勧めします。

カラオケを楽しむ場合

●音源に合わせてファンクションを選び、メディア(カセットテープやUSBフラッシュメモリー、microSDカードなど)を装着してください。Bluetoothの場合はBluetooth接続してください。

※「AM」または「FM」でもマイク自体は使用可能ですが、受信状況によってはノイズが大きくなることがあります。

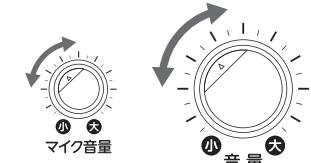
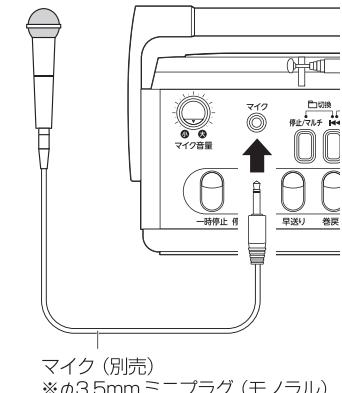
- 3 マイク音量調整ツマミと音量調整ツマミを使って音量を調節します。

- マイク音量調整ツマミは、主音量(音量調整ツマミ)に対する相対的なマイク音量を調節できます。
- カラオケを楽しむ場合は、再生開始後、主音量を音量調整ツマミで設定したうえで、マイク音量を調節してください。
- 音量を上げすぎないでください。周囲の迷惑になるだけでなく、長時間続けて聴くと聴力に悪い影響を及ぼすおそれがあります。

- 4 終了するときはマイク音量を絞り、ファンクション切換スイッチを「テープ／電源切」に合わせて電源を切ります。

ご注意

- スピーカーにマイクを向けてください。ハウリングを起こし、キーンというノイズが発生します。

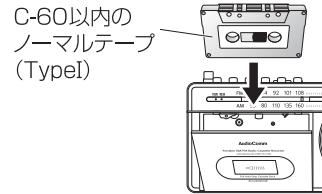


録音のしかた

カセットテープに録音する

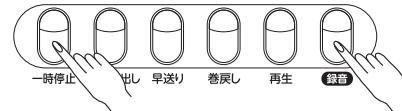
1 停止／取出しボタンを押して

カセットドアを開け、カセットテープを正しく入れます。



テープの見える側を上に、録音する面を手前にして入れ、カセットドアを手で押して閉めてください(テープは右から左へ走行します)。テープ装着後はカセットドアを確実に閉めてください。

2 カセットの一時停止ボタンを押した後、録音ボタンを押します=録音待機



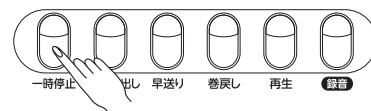
3 音源に合わせてファンクション切換スイッチを合わせ、録音の準備をします。

音源	ファンクション切換スイッチ	準備
AMラジオ	AM	録音したい放送局を受信してください(P.12参照)。
FMラジオ	FM	
USBフラッシュメモリー microSDカード	USB microSD	音源となるメディアを本機に装着し、録音したい曲の先頭で一時停止してください(P.14~15参照)。
Bluetooth	Bluetooth	事前にペアリングを行なってBluetooth接続してください。そのうえで、録音したい曲の先頭で停止／マルチファンクションボタンを押し、一時停止してください(P.16~17参照)。
外部マイク	テープ / 電源切 ※	外部マイクを接続し、マイク音量を調節してください。他のメディアと同時録音(カラオケ録音など)することもできます(P.18参照)。
録音マイク(内蔵)		本機を音源に向けてください。

※カラオケ録音をするときは、ファンクション切換スイッチをカラオケの音源に合わせて選び、準備をしてください。

4 カセットの一時停止ボタンを押すと、録音待機が解除され、録音が始まります。

●USBフラッシュメモリー・microSDカード・Bluetoothの場合は、カセットの一時停止ボタンを押した後、再生操作をしてください。



5 録音を終了するときは カセットの停止／取出しボタンを押します。



ヒント

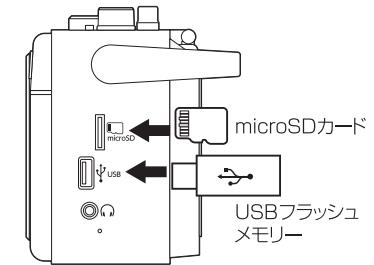
●録音マイク(内蔵)を使う場合は、録音待機操作(ステップ②)をせず、音源に本機を向けて録音ボタンを押すだけでも録音が始まります。

USBフラッシュメモリー／microSDカードに録音する

USBフラッシュメモリーとmicroSDカードに同時に録音することはできません。録音したいメディアどちらか一つのみをご使用ください。

1 ファンクション切換スイッチが「テープ／電源切」になっていることを確かめた後、USBフラッシュメモリーまたはmicroSDカードを本機に差し込みます。

- USBフラッシュメモリーはUSBポートに差し込みます。microSDカードは、カチッと音がするまでmicroSDカードスロットに差し込みます。
- USBフラッシュメモリーとmicroUSBカードは、同時に装着しないでください。誤作動の原因になります。



2 音源となるメディアなどを準備します。

AM / FMラジオ	録音したい放送局を受信してください(P.12参照)。
カセットテープ	カセットテープを入れ、録音を始めたいところまでテープを送って、再生を一時停止状態にします(P.13参照)。
Bluetooth	事前にペアリングを行なってBluetooth接続してください。そのうえで、録音を開始したいところで再生／一時停止(▶II)ボタンを押し、一時停止させます(P.16~17参照)。
外部マイク	外部マイクを接続し、マイク音量を調節してください(P.18参照)。その後、ファンクション切換スイッチを「USB・microSDカード・Bluetooth」に合わせてください。他のメディアと同時録音(カラオケ録音など)することもできます。
録音マイク(内蔵)	本機を音源に向けてください。その後、ファンクション切換スイッチを「USB・microSDカード・Bluetooth」に合わせてください。

3 AM / FMラジオ・外部マイク・録音マイク(内蔵)の場合

メディア操作部の

録音／リピートボタンを2秒間長押しします。

- インジケーター(赤)が点滅し録音が始まります。

カセットテープの場合

メディア操作部の録音／リピートボタンを2秒間長押しした後、カセットの一時停止ボタンを押します。

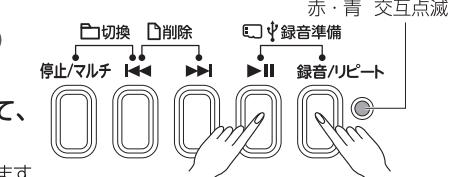
- インジケーター(赤)が点滅し、カセットテープの再生とメディアへの録音が始まります。



Bluetoothの場合

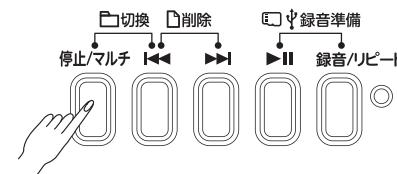
メディア操作部の録音／リピートボタンを2秒間長押しした後、再生／一時停止(▶II)を押して、一時停止を解除します。

- インジケーターが赤と青の交互点滅となり、録音が始まります。
- Bluetooth機器の再生ソフトによっては、本機の再生／一時停止(▶II)ボタンが機能しないことがあります。その場合はBluetooth機器側で操作してください。



録音のしかた(つづき)

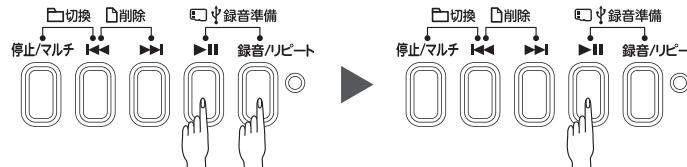
- 4 録音を終了するときは、
停止／マルチファンクションボタンを押します。



ヒントとご注意

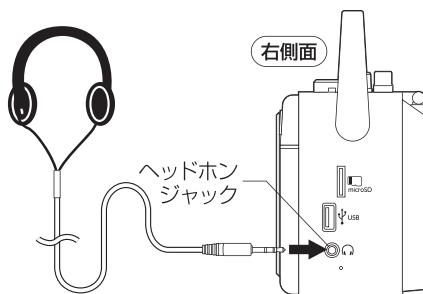
●録音準備モードを使った録音方法(Bluetooth録音時)

Bluetooth機器を音源とする録音の場合、メディア操作部の録音／リピートボタンと再生／一時停止(▶■)ボタンを同時に押すと、録音準備モードになります。その後、再生／一時停止(▶■)ボタンを押すと、Bluetooth機器の再生開始と録音を同時に始めることができます。



●Bluetooth機器を音源とする録音の場合、Bluetooth機器側で音量を変化させると、録音音声に影響を与えるのでご注意ください。

ヘッドホンの使いかた



- 別売のステレオヘッドホン(Φ3.5mm ステレオミニプラグ)をヘッドホンジャックにつなぎます。ヘッドホンをつなぐと、スピーカーからの音は聴こえなくなります。
- 本機はモノラルラジカセのため、ヘッドホンの出力音声もモノラルになります。
- ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。
- 家庭用コンセントでご使用時、ヘッドホンでお聴きになるとハム音(ラジオなどの音声に混じって聞こえる「ブーン」という音)が耳障りになることがあります。その場合は乾電池にてご使用になられるようお願いいたします。

お手入れのしかた

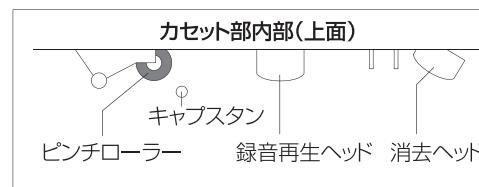
※お手入れの前には、あらかじめ電源コードや乾電池を外し、誤って電源が入らないようにしてから行なってください。

ヘッド部の清掃

ヘッドやキャップスタン、ピンチローラーは長い間使っていると磁粉やゴミ、ほこりなどが付着して汚れてきます。汚れがひどくなると、音質が悪い、音が小さい、録音できない、前の音が消えないで残る、などの症状が出ます。また、テープが巻き込まれる原因にもなりますので、定期的にヘッド部を清掃してください。

清掃方法

カセットドアを開け、市販のクリーニングキットでヘッドやピンチローラー、キャップスタンなどの汚れを拭き取ります。なお、次に使うときは、内部についたクリーナー液が十分に乾いてから、カセットテープを入れてください。



録音再生ヘッドの消磁を行なうには市販の消磁器をお使いください。カセットタイプの消磁器をお使いになるときは、必ず再生ボタンのみを押し込んで消磁してください。詳しくはヘッド消磁器の説明書をご覧ください。

※本機の消去ヘッドはマグネットタイプになっていますので消磁しないでください。

キャビネットの清掃

- キャビネットや操作ボタンなどが汚れたら、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい場合は、水で布を湿らすか、中性洗剤を少し布につけて拭き、その後にから拭きをしてください。
- 電源コードのプラグにほこりがたまる、発火する危険があります。プラグをコンセントから抜いて時々清掃してください。
- シンナー、ベンジン、アルコールなどは使わないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。



シンナー、ベンジン、アルコールは
使用しないでください。

故障かなと思ったら

本機の調子がおかしいときは、サービスをご依頼になる前に以下の内容をもう一度チェックしてください。それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店、または、弊社修理ご相談センターにご連絡ください。

共通部

電源コードがはずれて(ゆるんで)いませんか?

動作しない

乾電池が正しく入っていますか?

乾電池が消耗していませんか?

音量が最小になっていませんか?

音が出ない

ヘッドホンジャックにヘッドホンが差し込まれていませんか?

ファンクション切換スイッチが適切な位置になっていますか?

ラジオ部

近くで携帯電話を使用していませんか?携帯電話を本機から離して使用してください。

雑音が入る

テレビや蛍光灯の近くでAM放送を受信すると、AM放送に雑音が入ることがあります。またテレビの近くで本機を使用すると、テレビの画像が乱れことがあります。このようなときは本機をテレビから離してください。

カセット部

カセットドアが閉まらない

カセットテープが逆向きではありませんか?

操作ボタンを押していませんか?

テープ走行が不安定
テープが走行しない

テープがたるんでいませんか?

乾電池が消耗していませんか?

テープが機械に巻きつく

ピンチローラーやキャブスタンが汚れていませんか?

テープがたるんでいませんか?

カセットドアがきちんと閉まっていますか?

録音ボタンが押せない

カセットテープの誤消去防止用のツメが折れていませんか?

カセットドアがきちんと閉まっていますか?

前の録音を完全に消去できない
録音した音がひずむ

ハイポジション(TypeII)やメタルテープ(TypeIV)を使っていませんか?

消去ヘッドが汚れていますか?

ヘッドやピンチローラー、キャブスタンが汚れていますか?

テープがたるんでいませんか?

乾電池が消耗していませんか?

録音できない

ヘッドが汚れていますか?

誤消去防止用のツメが折れていませんか?

ラジオは聴けるのに
テープの音が出ない/小さい

乾電池が消耗していませんか?新しい乾電池をお使いください。

USBフラッシュメモリー・microSDカード部

USB フラッシュメモリーを認識しない

USB 端子に正しく接続されていますか?

USB フラッシュメモリーに音楽(音声)ファイルが記録されていますか?

USB フラッシュメモリー内のデータが壊れていませんか?

正しく再生されない

MP3 形式以外のデータが含まれていませんか?該当ファイルをパソコンなどで削除してみてください?

USB フラッシュメモリーを差し込めない

間違った向きで差し込もうとしてませんか?

Bluetooth部

Bluetooth 機器の電源は入っていますか?

Bluetooth 機器は本機のプロファイルに対応していますか?

Bluetooth 機器が他の機器と通信していませんか?

Bluetooth 機器との間に障害物があったり、双方の距離が離れすぎていませんか?

ファンクション切換スイッチが適切な位置になっていますか?

他のメディア(USB フラッシュメモリーや microSD カード)が選ばれていますか?停止/マルチファンクションボタンを押してメディアを切り換えてください。

ファンクション切換スイッチが適切な位置になっていますか?

2回目以降使用時に、Bluetooth 接続ができない

Bluetooth 機器の電源は入っていますか?

Bluetooth 機器が他の機器と通信していませんか?

Bluetooth 機器がスリープ状態になっていますか?

Bluetooth 機器内で本機の登録が削除されていますか?

正しく Bluetooth 接続されていますか?

音が出ない

Bluetooth 機器側で再生などの操作を行ないましたか?

Bluetooth 機器の音量が最小になっていますか?

Bluetooth 機器との間に障害物があったり、双方の距離が離れすぎていませんか?

Bluetooth 機器との間に障害物があったり、双方の距離が離れすぎていませんか?

無線通信を阻害する電磁波の発生源や無線 LAN 環境の近くで使用していませんか?

マイク部

お使いのマイクはダイナミック型ですか?コンデンサー型は本機では使えません。
マイクジャックにマイクの端子が正しく差し込まれていますか?

マイク音量調整ツマミまたは音量調整ツマミが最小になっていますか?

ファンクション切換スイッチが適切な位置になっていますか?カセットテープに合わせてカラオケを楽しむときは、テープ動作中(再生、再生一時停止、早送り、巻戻し中)以外はマイクの音は出ません。

主な仕様

■共通

電源	AC100V 50/60Hz DC6V 単2形乾電池×4本(別売)
定格出力	2.5W(r.m.s)
定格消費電力	10W
スピーカー	口径89mm(6Ω)×1個
接続端子	ヘッドホン: φ3.5mmステレオミニジャック、マイク: φ3.5mmミニジャック(モノラル) USBポート、microSDカードスロット
使用環境	温度: -10°C~40°C 湿度: 40%~80%
外形寸法	幅252×高さ128×奥行107mm(突起物含まず)
質量	約1000g(乾電池含まず)
付属品	専用電源コード、保証書付取扱説明書

■ラジオ

受信周波数	AM: 530~1605kHz FM: 76~108MHz (ワイドFM対応)
アンテナ	AM: 内蔵フェライトバーアンテナ FM: ロッドアンテナ

■カセットデッキ

トラック方式	2トラック 1チャンネル モノラル方式
ワウ/フラッター	0.35%以下

■Bluetooth

通信方式	Bluetooth標準規格 Ver.4.2
対応プロファイル	A2DP、AVRCP
変調方式/周波数帯域	GFSK/2.402~2.480GHz
最大通信距離	見通し 約10m(Class2)

■USB フラッシュメモリー

対応規格	USB2.0 32GB以下推奨
ファイルシステム	FAT32
フォーマット	録音: MP3 / 128kbps※1 再生: MP3
対応データ構成	65534ファイル / 65534フォルダー 8階層

※1 Bluetooth音源時は192kbpsになります。

■microSD カード

対応規格	microSD 2.0(SDHC) 32GB以下推奨
ファイルシステム	FAT32
フォーマット	録音: MP3 / 128kbps※2 再生: MP3
対応データ構成	65534ファイル / 65534フォルダー 8階層

※2 Bluetooth音源時は192kbpsになります。

※乾電池での使用時間の目安は、新品の乾電池使用・音量中程度の場合の目安です。使用状況などによって異なります。
 ※仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。 ※Bluetooth 及び Bluetooth ロゴマークは、Bluetooth SIG, INC. の商標で、当社はライセンスにもとづき使用しています。 ※記載しているシステム名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。 ※本書のイラストは実際の製品と一部異なる場合があります。

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついており、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

●調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

●保証期間中は

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎた場合は

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

■乾電池での使用時間目安

ラジオ	約43時間
カセットテープ	約34時間
USBフラッシュメモリー	約35時間
microSDカード	約35時間
Bluetooth	約42時間